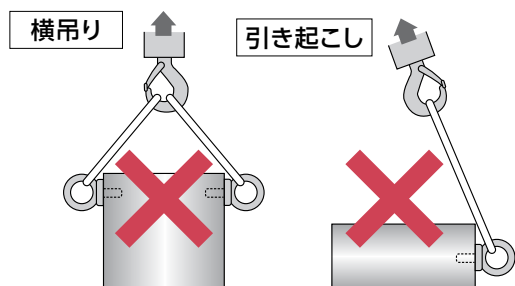


# アイボルトについて

## 取付時のご注意

1. 特にご注意いただきたいのは、吊り上げ対象物の側面にアイボルトまたはアイナットを取付けての横吊り、引き起こし荷役は破損事故の原因となり、人身事故につながる恐れがあります。
  2. アイボルトまたはアイナットの取付け相手は「鉄」を前提としてねじ長さが決められております。取付け相手の強さが「鉄」以下の時、ねじ部が強度不足で破損する事がありますのでご注意ください。
  3. アイナット使用時の挿込ボルトは、精度・材質・ねじ長さは、アイボルトに準じたものとしてください。
  4. 一般の六角ボルト・ナットは、物を締付け固定する目的で最大締付トルクを掛けますが、アイボルトまたはアイナットの取付けは「座面と取付物との間の密着を保持する程度」の初期締付に留めてください。
  5. 錆が発生すると、その腐食部より亀裂が生じ易くなります。メッキ処理がなされていない商品をご使用の場合は、使用前に油脂類をねじ部に塗布して腐食を防ぐ等の処置を行ってください。
- (注) 疲労度や経年変化による劣化具合および使用履歴が明らかではないアイボルトやアイナットの使い回しは安全作業を崩壊させる事に成りかねませんので当社としては、使い回しのご使用は避けて頂く事をお願い致します。

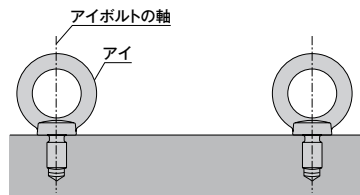
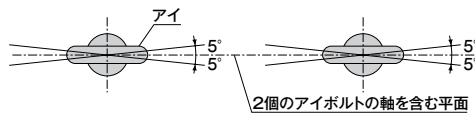
## 横吊り荷役は事故の元! 横吊りはしないでください。



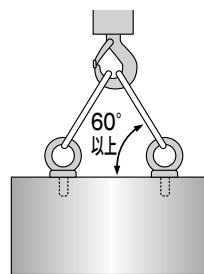
荷起こし作業など、どうしても横吊り作業が避けられない場合には、横吊り専用開発した「マルチアイボルト(P.509・510)」のご使用を推奨いたします。また、資料につきましては別途ご用意いたしております。

## 吊り上げ作業時のご注意

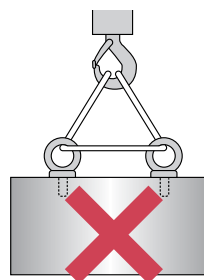
1. 2個のアイボルトまたはアイナットを締付けてリングの向きが同一平面内(下図のように2個のアイボルトまたはアイナットの平面は2個のアイボルトの軸を含む平面から5度以上傾いてはならない)におさめる事が重要です。もしリングの向きが違う場合はざぐりなどを施すか適当な座金を使用し同一平面内におさめてください。



2. JIS規格では、アイボルトまたはアイナットの2個による45度吊りの使用荷重を規定していますが、かかる曲げモーメントを小さくして、安全第一を確かなものとする為、物体を吊る角度は60度またはそれ以上が好ましいです。



3. 右図のようなタスキ掛けは、ねじの緩みまたは過締めになり危険です。リングに通すロープやチェーンは、必ず1個に1本を用いてください。



4. 急激な地切りは非常に危険です。吊り上げ物体の重量だけでなく吊り上げる加速度に比例する大きさの慣性力がアイボルト・アイナットに加わるので、使用荷重にかかわらず破損を生ずる恐れがありますので地切り作業はより慎重に行ってください。

5. 玉掛け作業は有資格者の方が行ってください。荷役物体の下は勿論のこと、搬送経路への人の侵入に気をつけてください。

## 使用荷重についてのご注意

1. アイボルトまたはアイナット1個による垂直吊り及び2個による45度吊りの使用荷重を確認いただき、その範囲内でご使用ください。
2. サイズ別の使用荷重は各商品ページをご参照ください。
3. ウィット品は、JIS規格から削除となったため、使用荷重の製品への表示は行っていません。

(注) 45度吊りの場合は、ざぐりなどを施しボルトの座面が相手と密着し、2個のアイボルト・アイナットのリングの向きが、図のように同一平面内にあるときの使用荷重を示す。

